

令和7年度『様々な遊びの中で健やかに育つ子ども』の実践フォト&事例

タイトル: したい気持ちを遊びに盛り込む	0歳児	保育環境アイデア部門	保育環境 アイデア部門
----------------------	-----	------------	----------------

体を動かして遊ぶことが大好きな子どもたち。動きもどんどん活発になってきて、室内の環境だけでは物足りなさがでてきたところ、“安心して安全に楽しめる”をもとに、心身ともに発散できるような環境や玩具を担任間で相談し合い、つくってきました。いろいろなものや人への興味の広がりから、友だちを押し、高いところに上ろうとするなどの行動も増えてきたので、制止することを遊びに代えられたら…と工夫しています。



活発に遊ぶ子どもたちの姿に合わせて、すべりだいを室内に常設しました。転倒や立ったまま上り下りするような行動を防ぐために大好きなトンネルも合体させてみました!トンネルを透明にすることで、周りが見える安心につながっています。

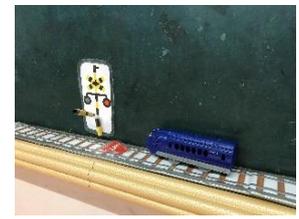
食べる真似やお料理の真似…身近な生活や大人の真似をして遊ぶ姿も出てきました。靴や人形などの見立てやすい玩具を用意しています。高月齢児と低月齢児の遊びの差も大きく、常設が難しい机は、その時々の子どもの姿に応じて保育者が出したり引いたりして環境を整えています。



タイトル: 何をつくろうかな～	1歳児	保育環境アイデア部門
-----------------	-----	------------



プラスチックの食材を使ってままごと遊びをしていた、りす組の子どもたち。ままごと遊びが好きな N ちゃんが、カラフルな色のアイクリップを料理の素材に使い始めました。子どもの発想から見立て遊びがスタートしたタイミングで、フェルト・毛糸・花はじきで作った素材を段ボールで作った棚に出してみました。子どもたちは「あかはトマト」「みどりはきゅうり」など色から食べ物を想像しながら料理をします。フライパンに色々な素材を入れて炒めるふりもとっても上手!友だちや保育者にごちそうしたり、みんなでおめかしをしてパーティーを開いたりして楽しんでいます。



以前は保育者が遊びを数種類用意し遊んでいましたが、乳児期の遊び環境等の研修を受け、子どもたちが主体的に遊べる環境を考え、保育環境を見直しました。遊びのコーナーをつくり玩具を見直したことで、子どもたちは好きな遊びに集中してじっくり遊びを楽しむようになったり、毎日好きな遊びが保育室にいつもある安心感から片づけや活動の切り替えもスムーズにできるようになりました。また、遊びのイメージが広がり、友だちとのやり取りが増えたり、遊びが発展したり、新しい遊びが生み出されたりと遊びの幅も広がってきました。その上、保育者自身も子どもたちの姿を語り合うことが増え、職員間の連携や日々の保育の振り返り、次の保育計画の向上にもつながっています。

何より子どもたちが目をキラキラさせながら夢中になって遊びを楽しむ姿が見られ、そんな姿を見ると環境を構成してよかったなど実感しています!!

子どもたちの視界のなかに...

数字に興味をもってくれるかな....

数えることが楽しいと思えるように、ともだちと一緒に自発的に学べるきっかけになりますように...



階段を、怪我しないように、ゆっくり上がる習慣もついでに付けてくれたりすることも願います。

そんな願いを込めて、毎日通る階段に、装飾してみました。

貼った翌日、子どもたちは嬉しそうに、一段一段踏みしめて上がっていく姿が見られました。





2025年は万博一色!!子ども達からも「万博行ったよ」「大屋根リング見てきた!」とよく話題になっていました。そこで特別保育での遊びに万博コーナーを設置しました。

これだけでは完成ではありません。5歳児が今夢中になっているカプラで大屋根リングづくりをしましたよ。



夏祭りのコーナーでも大屋根リングづくりは大盛況!!5歳児が組み立てる姿に年下の子ども達も刺激を受けていました。

<牛乳パックの仕切り>



牛乳パックでつくった仕切りを使って保育室を区切っています。

一人で遊びたい子どものスペースを確保したり、食事スペースと遊びのスペースを区切ったりと子どもの様子や生活の流れによって動かしています。

保育室の前の玄関ホールで遊ぶ時は、広めにスペースをとり、この仕切りで区切ることでコンビカーも伸び伸びと乗って遊べるようにしています。

仕切りをつくる際には、子どもが当たっても倒れにくく危険がないような高さや形を考えてつくっています。

<机と椅子>



これは、牛乳パックと段ボールでつくった椅子と机です。

子どもが動かせる軽さで、ママごとをする際の食事のテーブルになったり、壁に向かって集中して遊ぶ際に使ったりしています。

子どものサイズに合った高さになっています。

本園の2階にはアジトスペースという子どもたちの遊び場がある。その場を子どもたちが楽しめるように秋の自然物や手作りの玩具などを職員室のメンバーが中心となり準備した。「五感で遊びを楽しむ」ことをねらいとして自由に触り思いのままに遊んだり、サツマイモを見つけるために裸足でかんなくずの中に足を踏み入れ不思議な感触に驚きながらも楽しんだりした。また、保護者からも「本物のユーカリの葉の香りが心地よくてずっと過ごせますね」と好評だった。担任保育者からも「楽しかったので保育室にも準備します」と保育アイデアを共有できる場となった。



面白そうなところ発見! 入ってみたい

虫の音が聞こえてくる!?(BGMを流しています)



ユーカリを吊るして爽やかな香り(嗅覚)

虫の声、風の音。声が響くね(聴覚)

壁紙の背景と木を組み合わせて動物のおうち

チクチクする! こそばゆい(触覚)



松ぼっくり人形 かわいいな

坂道を転がっていくね(視覚)



秋の味覚狩り。ミカンもリンゴも大好き(味覚)



本物のサツマイモがかんなくずの中にかくれんぼ。自然に包まれた遊びは癒されます。



テープ芯の中にどんぐりや木の実を入れて転がるようにしました。マラカスのような音も鳴ります。

おもも転がしてみよう